



堺化学工業株式会社

三二会社説明会

2026年8月28日・29日

【東京証券取引所・プライム市場 証券コード：4078】

1. 実は身近な堺化学
2. 堺化学の注力分野
3. 株主還元（配当政策）

1. 実は身近な堺化学

皆様の目に直接触れることはありませんが、
実は身近な製品の多くに、当社製品が使用されています。

堺化学の沿革

土台づくり

応用・発展

【コア素材】

酸化亜鉛
(Zn)

硫酸バリウム
(Ba)

酸化チタン
(Ti)

樹脂添加剤
(安定剤)

1960年代～
(医療事業)

Ba



Zn

Ti

1980年代～
(化粧品材料事業)

Ba



日焼け止め材料



メイク材料

1970年代～
(触媒事業)

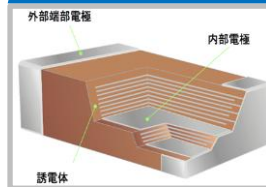
Ti



脱硝触媒

1990年代～
(電子材料事業)

Ba



MLCC向け材料
(誘電体・誘電体材料)

弊社売上推移

1990年代～
(有機化学品事業)

有機系素材
へ進出



2000年代～
海外進出・非鉛化対応

安定剤



1918年創業

- 各材料をさらに加工し、様々な用途へ広げていきました。
- 直近は、有機材料分野へも進出し、海外展開にも力を入れています。

暮らしに息づく堺化学グループ製品

皆さんの**普段使用されているアイテム**に、**当社製品が採用**されています

自動車

- ・ MLCC向け誘電体、誘電体材料
- ・ ワイヤハーネス・硫酸バリウム
- ・ ゴム用酸化亜鉛

ごみ焼却場

- ・ 脱硝触媒
- ・ ダイオキシン分解触媒

病院

- ・ X線バリウム造影剤
- ・ アルバイト G
- ・ 医療機器

家屋

- ・ 塩ビサッシ用安定剤
- ・ 壁紙用安定剤

携帯端末・パソコン

- ・ MLCC向け誘電体、誘電体材料
- ・ レジストインキ

化粧品

- ・ 日焼け止め用酸化チタン・酸化亜鉛
- ・ メイク向け酸化亜鉛
- ・ ファンデーション用板状硫酸バリウム

光学部品

有機材料化合物

オムツ・生理用品 (衛生材料)

- ・ 不織布
- ・ 通気性フィルム

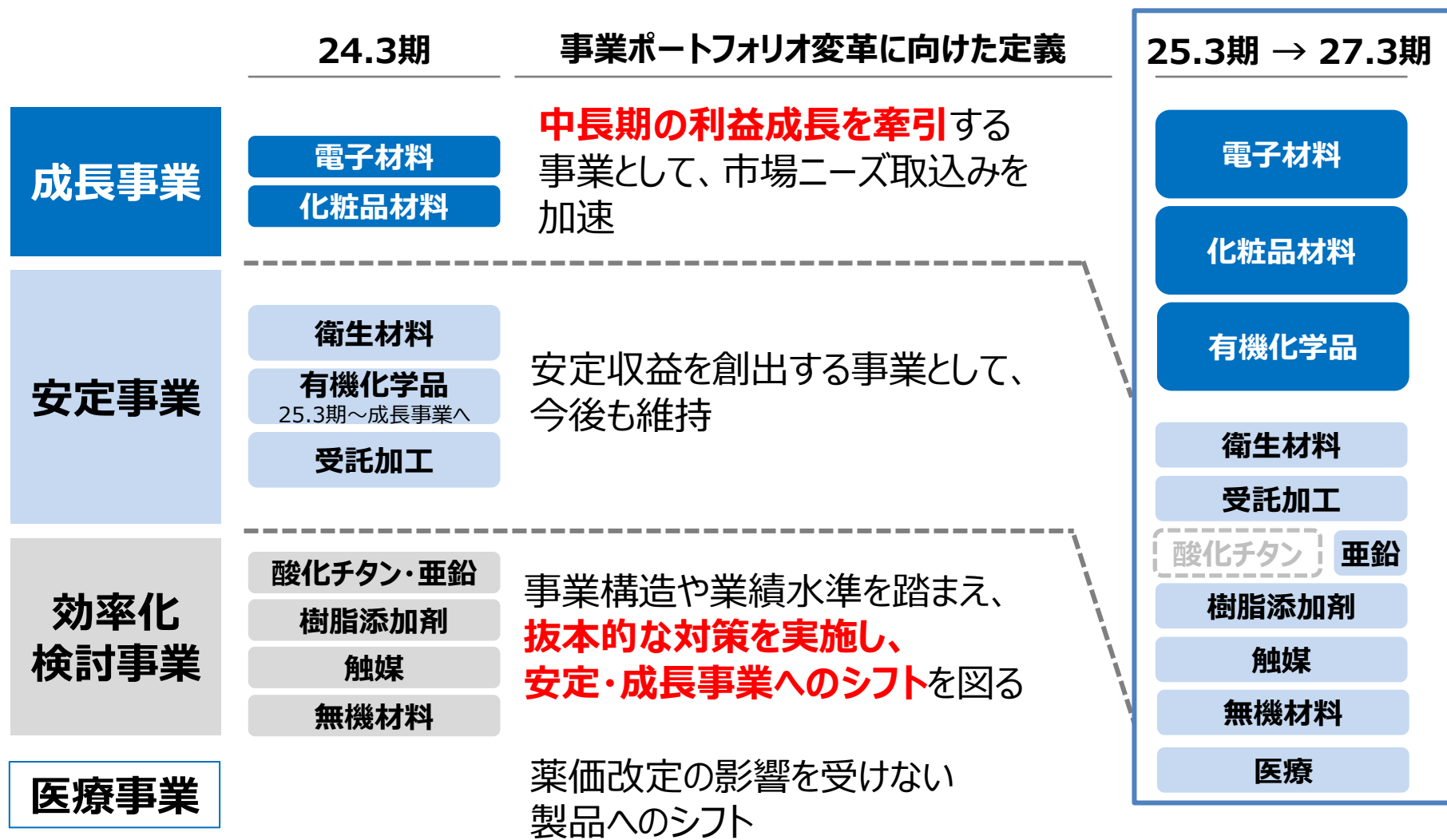
会社概要

材料だけでなく、堺化学グループの輪も広げながら、
長年築き上げてきた各業界での実績が評価されて、今に至ります。

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢倉 敏行
創 業	1918年6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化学品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	117,216百万円（2026年3月末現在）
純 資 産	78,923百万円（2026年3月末現在）
関係会社	連結子会社15社（国内7社、海外8社）
従業員数	連結1,942名／単体769名（2026年3月末現在）

2. 堺化学の注力分野

堺化学の報告セグメント



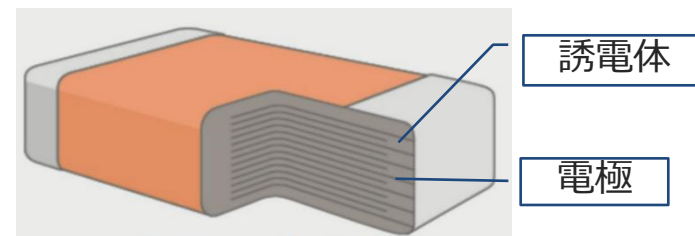
電子材料事業について

■使用用途

電子機器には欠かせない積層セラミックコンデンサのメイン材料。

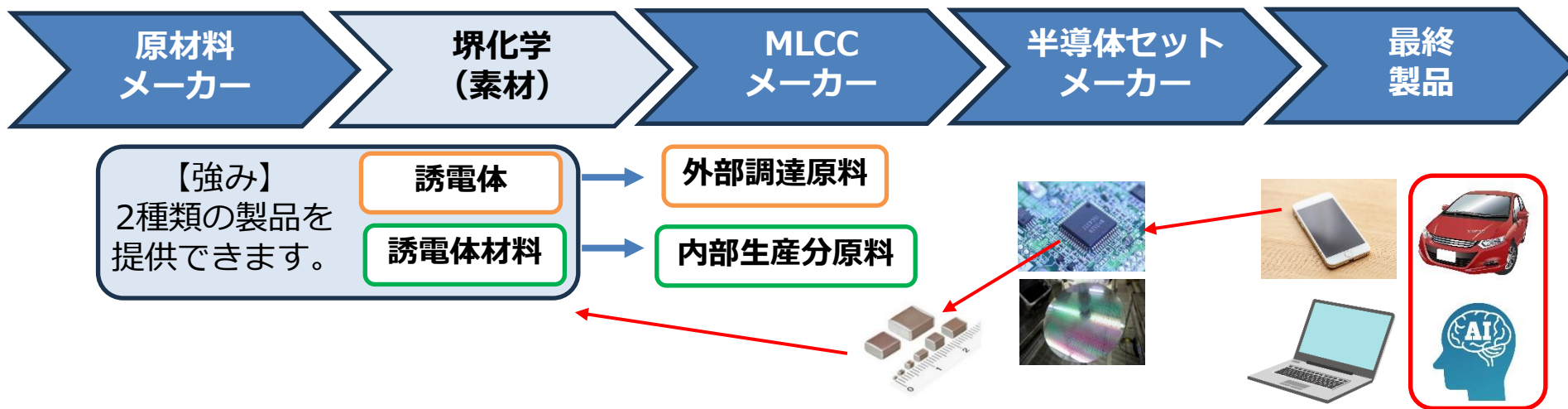
誘電体は電気をたくさん貯める性質を持ちます。

当社は、微細で形が均一に揃った球状の誘電体を開発し、コンデンサの性能向上に貢献していきます。

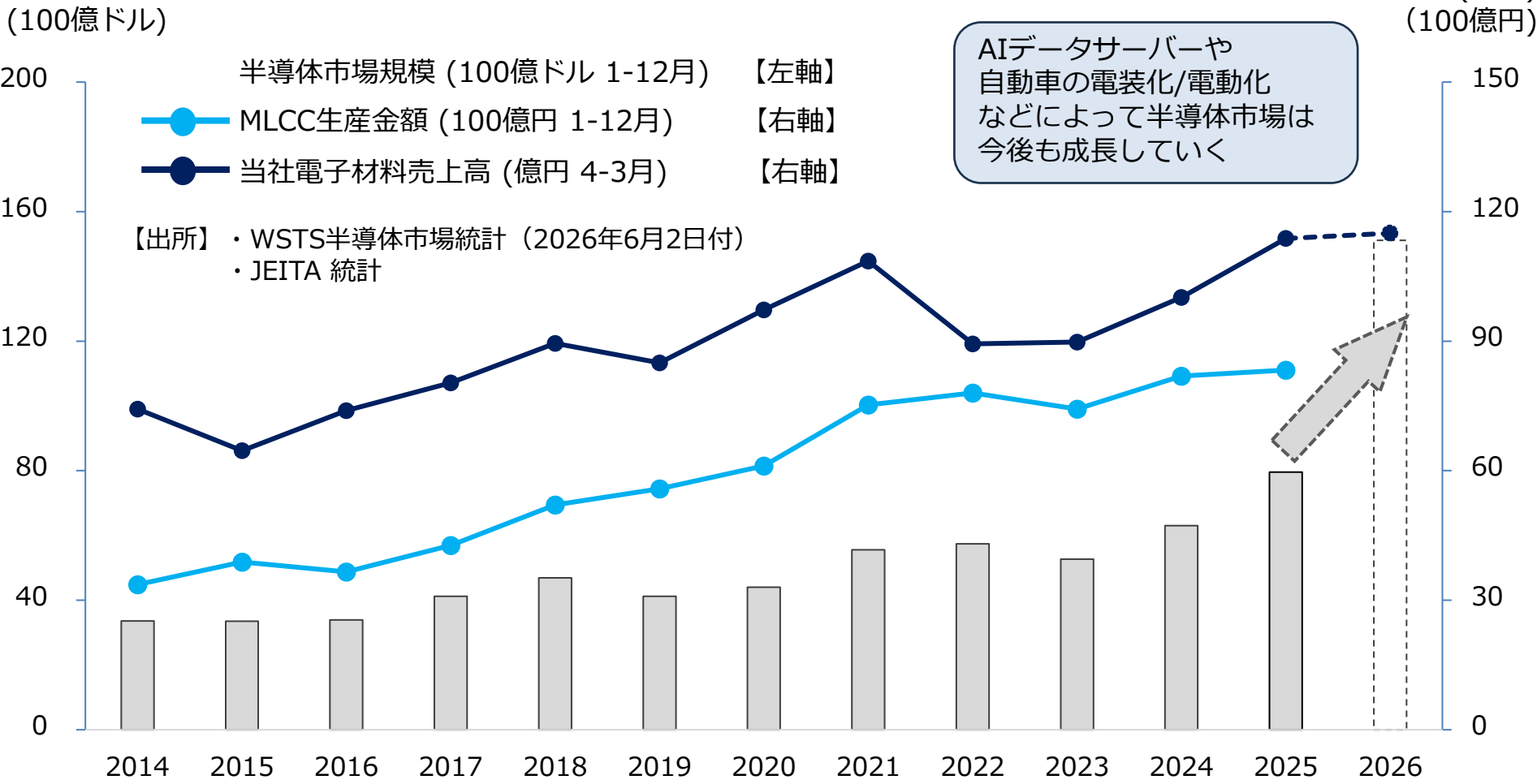


■サプライチェーン

*MLCC (Multi -Layer Ceramic Capacitor) = 積層セラミックコンデンサ



電子材料事業の売上高は、半導体市場及びMLCC市場の動きに連動するため、今後も更なる成長が期待される



* 当社電子材料売上高に関しては、2024年より新報告セグメントによる売上高を記載

3. 株主還元（配当政策）

堺化学の株価情報

直近の株価	3,955円	8/27 終値
出来高	138,700株	
純資産 (1株当たり純資産)	83,688百万円 (4,898円)	2026年6月末現在
PBR	0.81	株価純資産倍率
年間配当金	160円/株	2027年3月期見込み
配当利回り	4.05%	

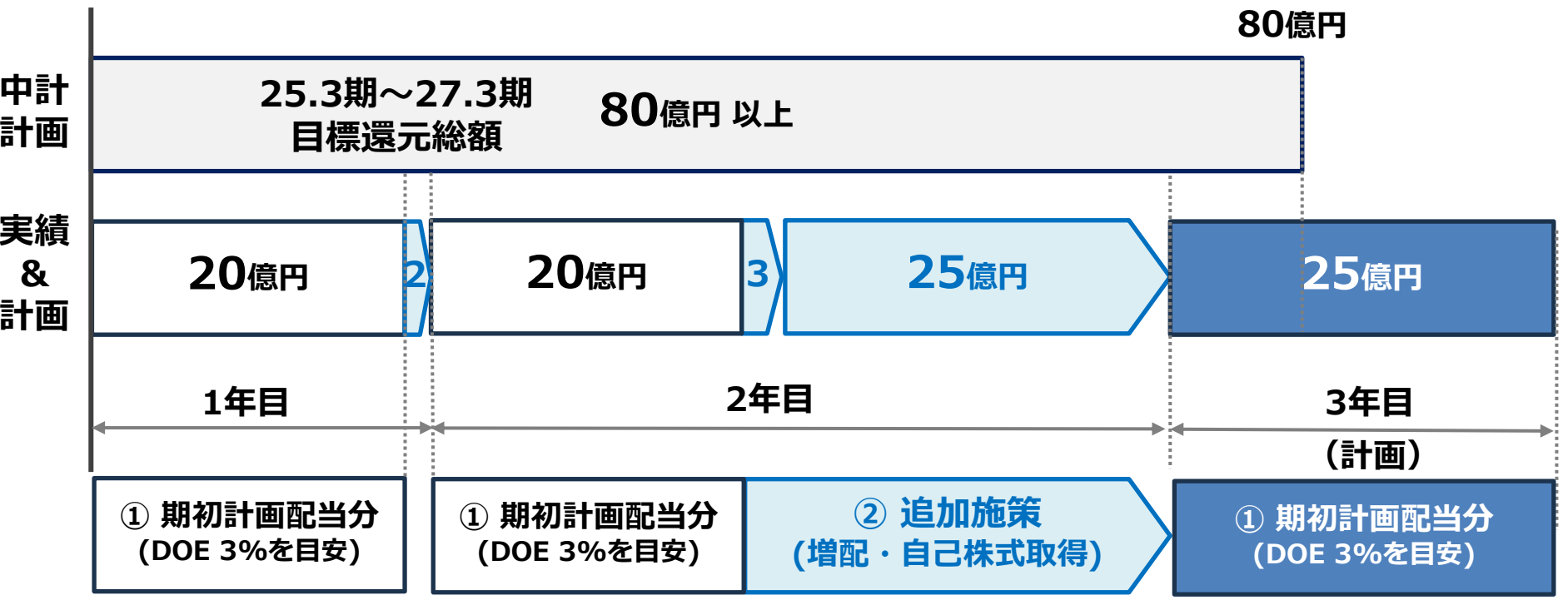
株主還元の考え方 & 現中期経営計画での進捗経過

■ 3年累計の株主還元総額は94億円と中計目標(80億円)を大幅に超過する見込み

【株主還元の考え方】

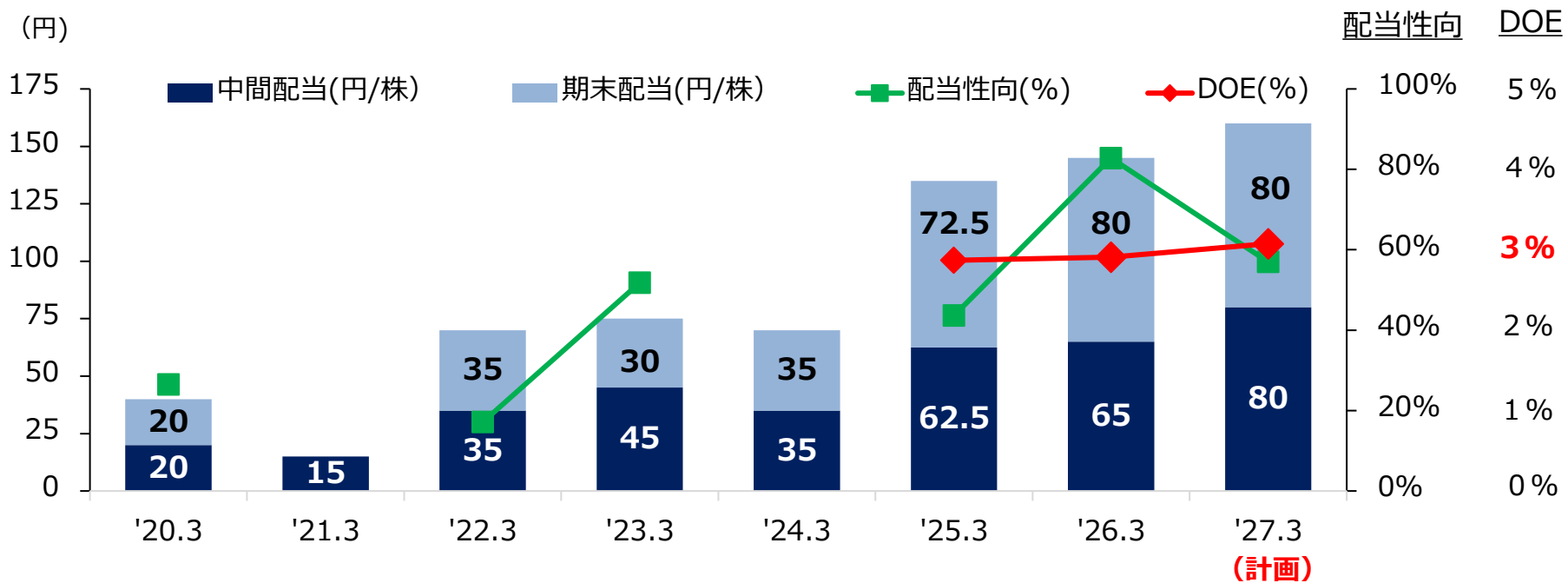
基本方針は「総額80億円以上の株主還元の実施」(2025年3月～2027年3月期)

- ① 配当は「DOE 3%を目安」に安定配当を実施する。
- ② 業績推移や目標ROEも勘案し、配当増額や自己株式取得など追加施策を検討する。



株主還元（一株当たりの配当金額推移）

- 26.3期：株主還元を大幅に拡充。
 - ・配当は、前期比 **+10円増配** の **145円/株**（DOE：2.9%）
 - ・自己株式取得を、2,500百万円実施。（**取得した株式は、全て消却済み**）
- 27.3期：**26.3期比で+15円の増配**とし、**160円/株**の配当を予定（**予想DOE：3%超**）



自己株式取得	—	—	15億円	—	—	—	25億円	未定
--------	---	---	------	---	---	---	------	----

DOE : Dividend on Equity（自己資本配当率）

本日のまとめ

堺化学の 事業内容

- 実は身近な堺化学
- 身近な製品の多くに当社グループの製品が使用されています!

堺化学の 注力分野

- 電子材料、化粧品材料、有機化学品を成長分野に位置づけ

堺化学の 株主還元

- 「DOE 3 %を目安」として安定配当を実施
- 利益超過の際には追加的な株主還元（増配・自己株取得）も検討。

ご清聴ありがとうございました。

本資料は、情報の提供を目的とし、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいるため、実際の業績はこれと異なる結果となる可能性があります。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に依存して投資判断されることにより生じうるいかなる損失に関して、当社は責任を負いません。

Appendix

堺化学のミッション・組織ビジョン

ミッション

化学でやさしい未来づくり

思いやりの心と技術革新で社会の快適と安心を支える素材を創造します

組織ビジョン

わくわくカンパニー

ワクワクする会社をみんなで作ります

わくわく
カンパニー®



マスコットキャラクター：チータン

堺化学の将来向かう方向（BEYOND2030）

当社が想像する2050年の暮らし

仮想空間とリアルが共存

人が介在する社会が前提

人と人とのふれあい、コミュニケーションはなくなるらない

ライフスタイルの更なる多様化

コンパクトシティ、自然とのふれあい

コミュニケーションはリモートとリアル

人とのつながり方は異なっても、美と健康のニーズは常にある

2050年の暮らしを「創造」するために「化学」ができること…



① 自然を守る
(地球環境を守る)

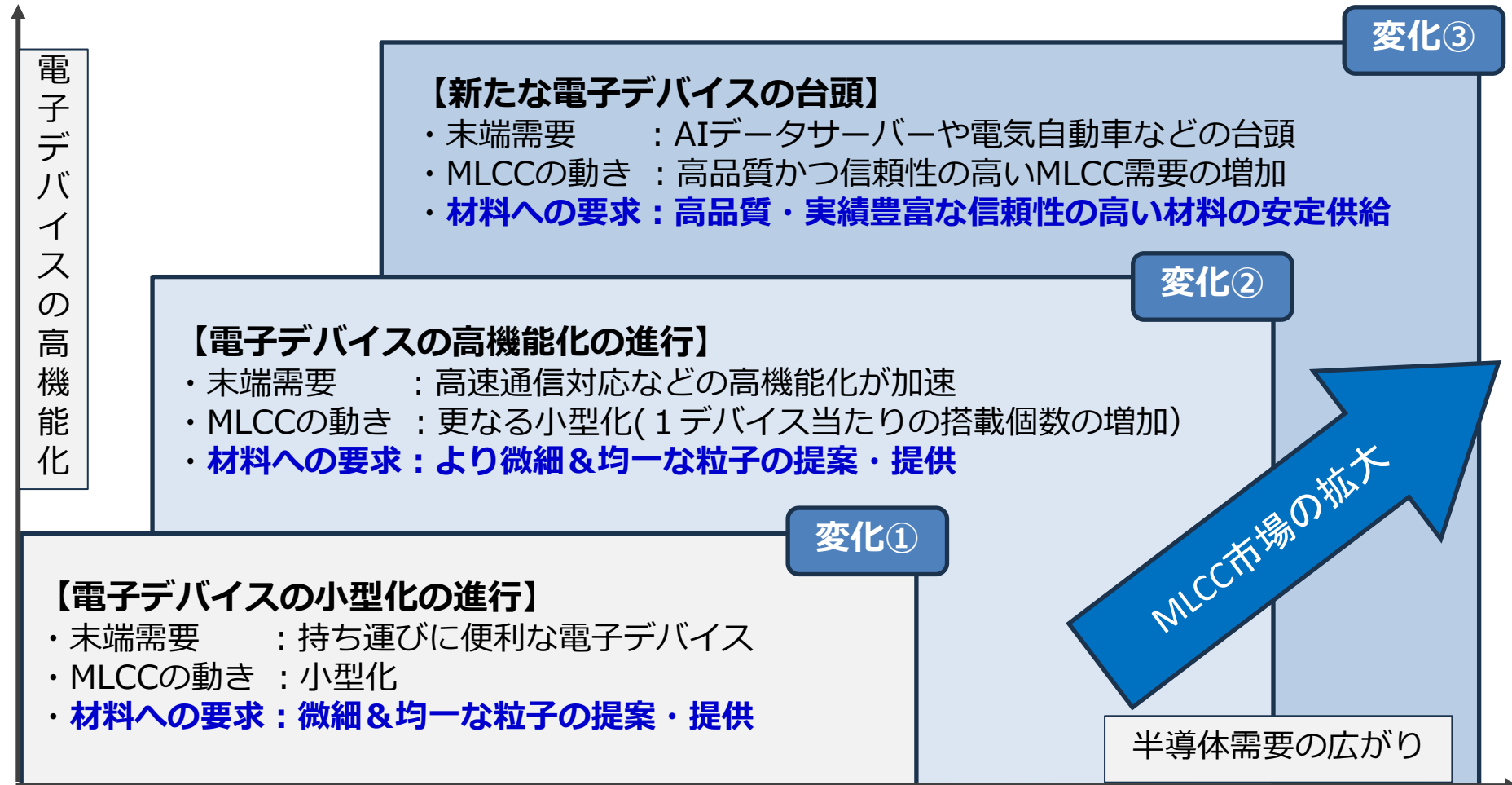
② 高度情報化社会の発展を支える
(より平等な社会へ)

③ 人々の健康を支える

3つの分野において「Smart Materialで社会に貢献できるエクセレントカンパニー」へ

市場の変化と、材料への要求の変化

電子デバイスの高機能化や新たなデバイスの台頭により、MLCCの需要が広がると同時に、使用される材料への要求も変化していく



誘電体・誘電体材料を併せ持つ当社の強み

誘電体および、その原料の誘電体材料の両方を手がけることが
市場とより多くの接点をもつ優位性となっている

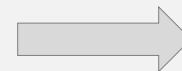
誘電体材料
(炭酸バリウム)

誘電体
(チタン酸バリウム)

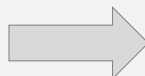
MLCC



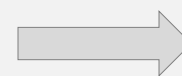
『水熱合成法』メーカー
・ 堺化学
・ 他 社



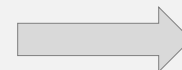
・ 堺化学
・ 他社(数社)



『固相法』メーカー
・ MLCCメーカーによる内製
・ 他社(当社バリウム使用)
・ 他社(上記以外)



『シュウ酸法』メーカー
・ 他 社



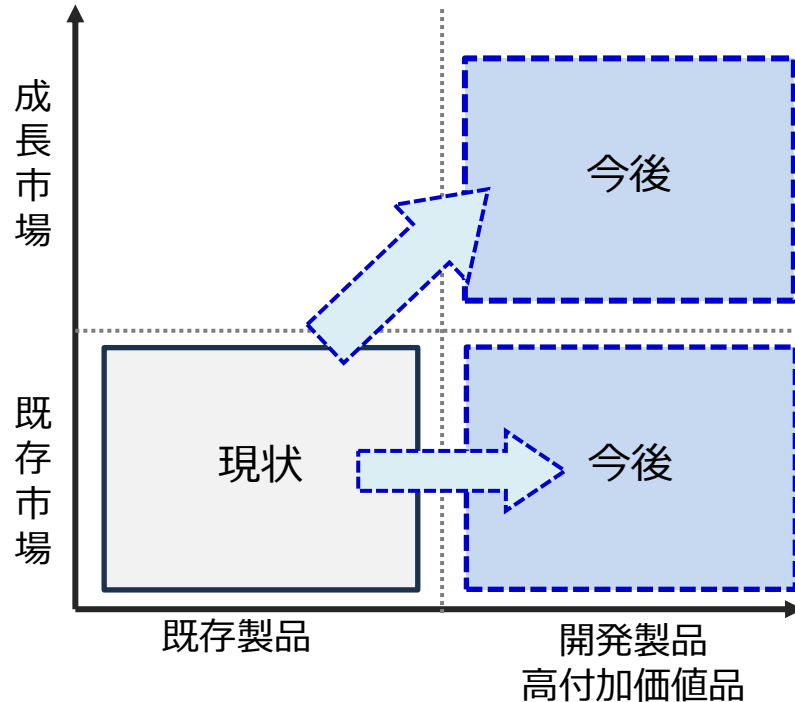
MLCC
メーカー

電子材料事業の事業拡大のイメージ

【誘電体】と【誘電体材料】の両輪で、 中長期的な売上高の拡大を目指していく

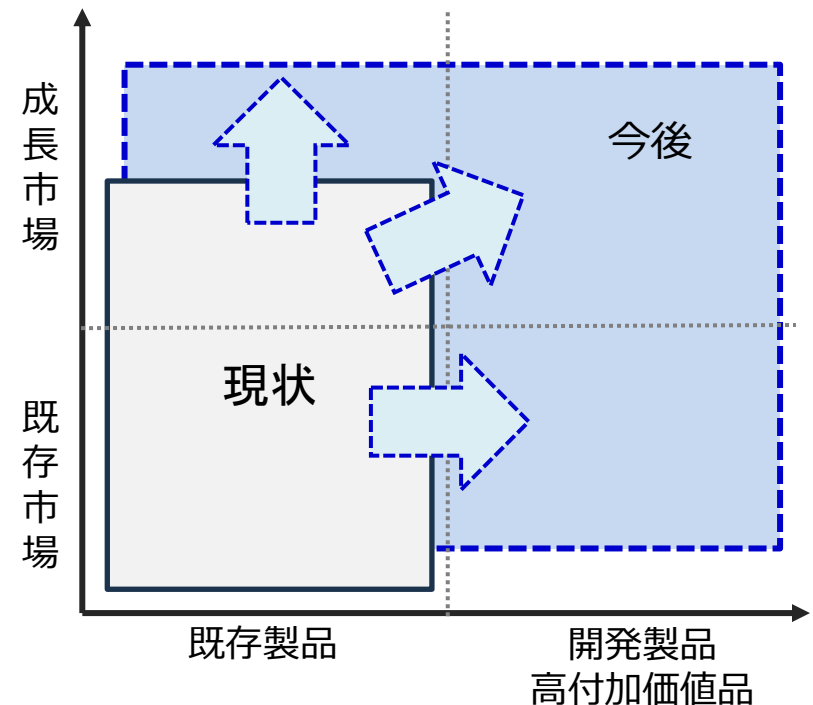
【誘電体】

より微細で均一性が求められる開発品を
順次投入し、開発/高付加価値製品での
シェアを拡大させていく



【誘電体材料】

豊富な製品ラインナップを取り揃え、
既存市場～成長市場を幅広くカバーし、
シェアを拡大させていく



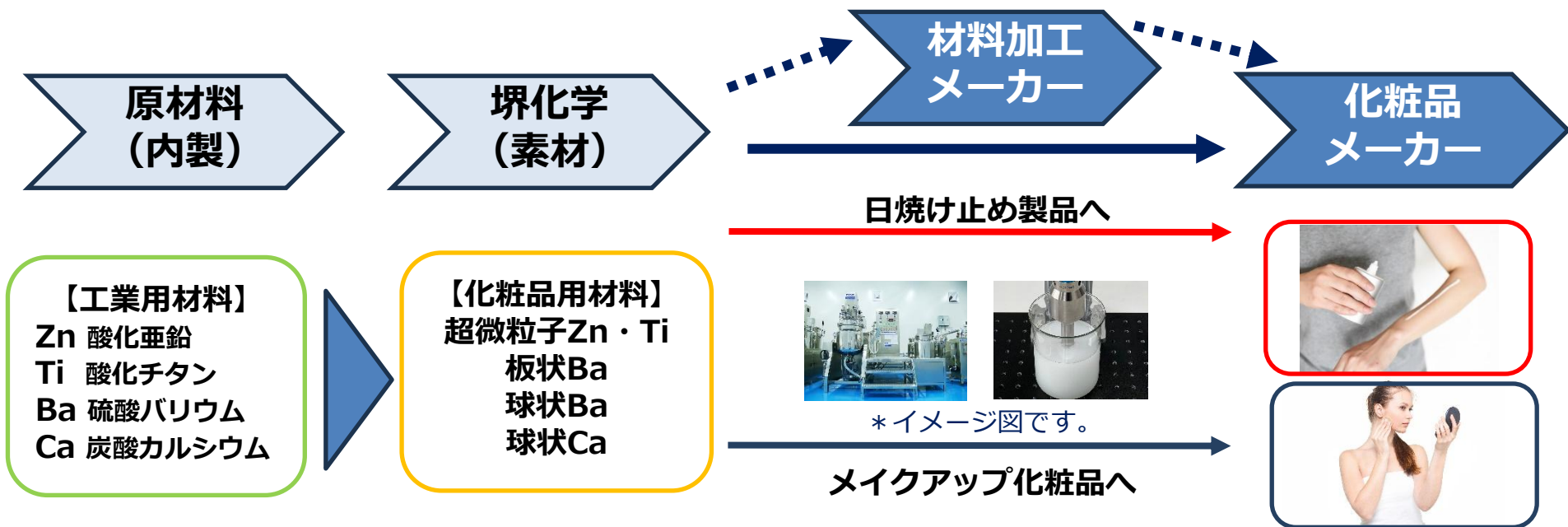
* 成長市場イメージ：AI関連 / 電気自動車関連など 既存市場イメージ：スマートフォン / 産業機器など

化粧品材料事業について

■使用用途

化粧品・顔料加工メーカーへ、日焼け止めや滑り性が良い
メイクアップ用化粧品材料を提供し、「健康なお肌」と「美」への
貢献を果たしています。

■サプライチェーン

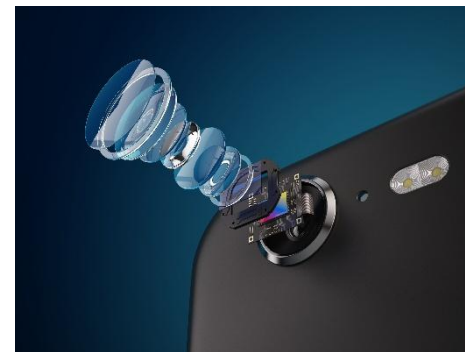
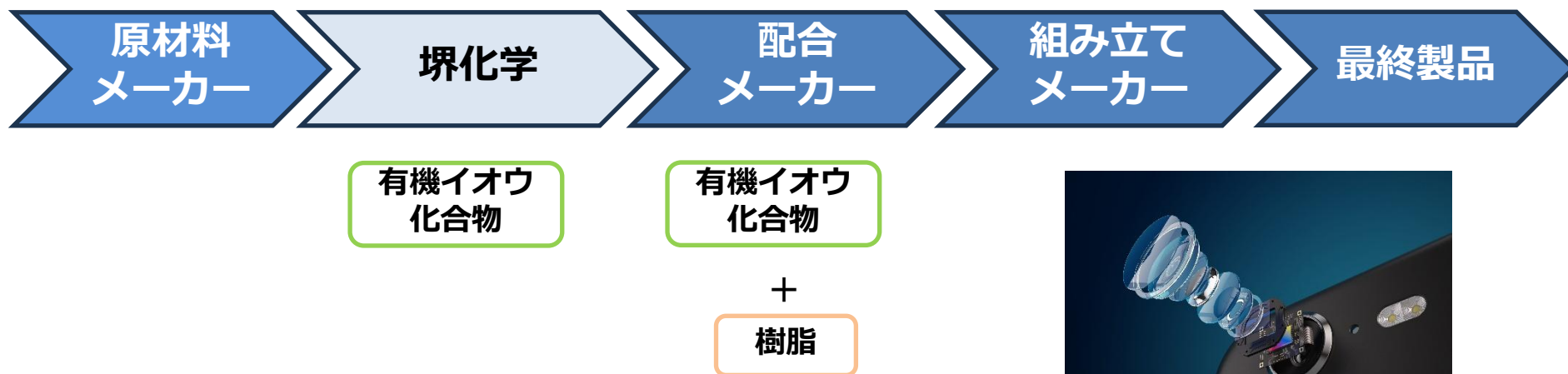


有機化学品事業について①

■ 使用用途（有機イオウ化合物）

屈折率調整の役割を果たす光学機能材料として、
また、スマートフォンなどの電子機器用接着剤の機能性向上に貢献しています。
(耐熱性、耐湿性、耐衝撃性)

■ サプライチェーン（有機イオウ化合物）

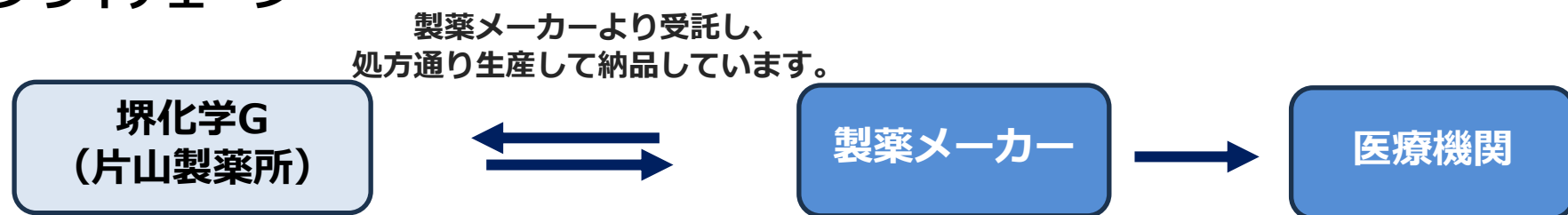


有機化学品事業について②

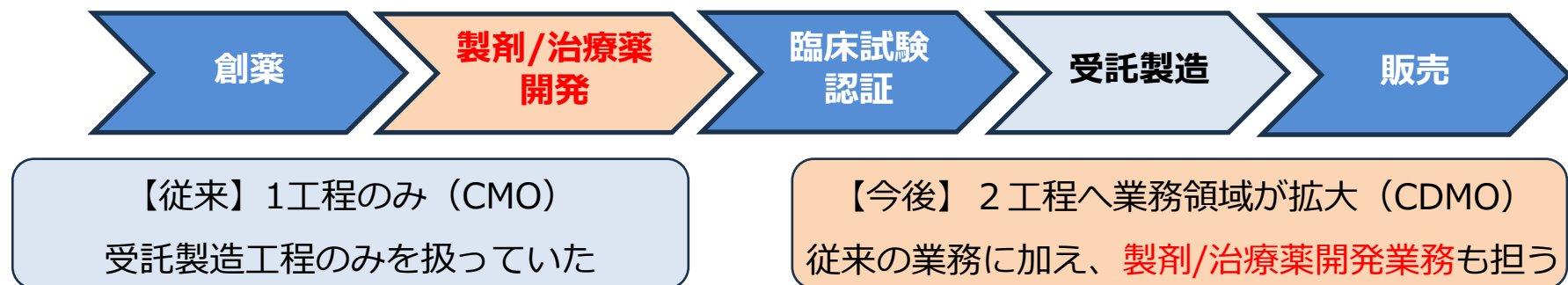
■使用用途（医薬品原薬・中間体）

低分子における医薬品原薬中間体領域で、高い品質管理による信頼を築き、ヘルスケア領域で人々の健康に貢献をしています。

■サプライチェーン



■バリューチェーンの広がり(業務領域の拡大)



CMO : Contract Manufacturing Organization

CDMO : Contract **Development** Manufacturing Organization